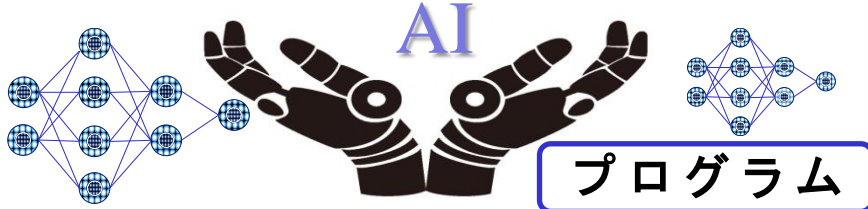
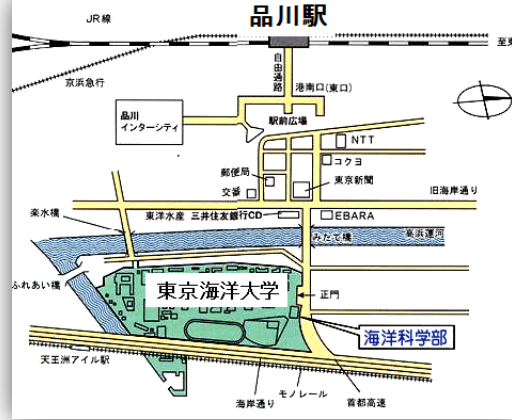


水産工学と人工知能

日時：平成30年10月6日(土) 13:00~17:50

会場：東京海洋大学 楽水会館、参加費：1000円(要旨集代)



13:00 開会挨拶
13:05 趣旨説明

日本水産工学会 会長 大竹臣哉
日本水産工学会 企画理事 綿貴 啓

1. 概要と展望

13:10 テクノロジーと人との調和・未来の社会と生活人工知能最前線
北海道大学大学院 教授 川村秀憲
13:50 AI技術と水産工学への利用と課題
鳥取大学特任教授(鳥取クリエイティブ研究所所長)松原雄平

2. 事例紹介

14:30 サンゴ被度の推定における物理環境情報とAIの活用
五洋建設 鶴飼亮行・中瀬浩太
15:00 機械学習による超解像技術を活用した詳細な深海海底地形図の作成
環境シミュレーション研究所 伊藤喜代志
15:30 機械学習を用いた衛星画像による漁場予測の研究
リモート・センシング技術センター 荒井頼子
16:00 海岸堤防の点検効率化におけるAIの活用事例
国際航業株式会社 水上幸治
16:30 漁船の衝突防止へのAI活用
神戸大学大学院 橋本博公

3. 総合討論

17:00 「水産工学と人工知能」
座長 桑原久実
17:45 閉会挨拶
日本水産工学会 企画理事 酒井久治